

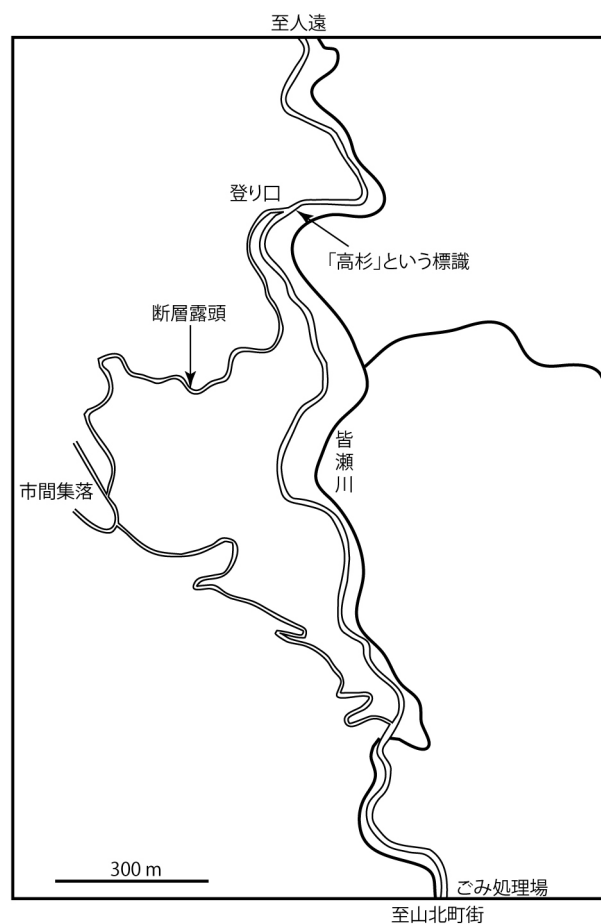


写真1 山北町皆瀬川の神縄断層露頭。
断層より下位が足柄層群で、上位が丹沢層群。

図3 山北町皆瀬川の神縄断層露頭位置。

ることができる2つの露頭を紹介
します。

山北町皆瀬川の露頭 (図2、3)

山北町の中心部から県道725号

線を皆瀬川に沿って北上します。
4kmほど進むと、道路の右側(川側)
に「高杉」という標識があります。
その左側(山側)にヘアピンで上が
っていく道があります。この道路は

車一台分の道幅しかありません。上
の集落の生活道路となっていますの
で、迷惑にならないよう気をつけま
しょう。

この露頭では、神縄断層を境にし
て、下位に足柄層群瀬戸層の礫岩、
上位に丹沢層群大山亜層群の凝灰岩
～凝灰角礫岩が見られます(写真
1)。

足柄層群は約200万～60万年
前、丹沢層群は約1700万～1100
万年前の地層と考えられています。
したがって、この露頭では新しい地
層(足柄層群)の上に古い地層(丹
沢層群)が乗っているということに
なります。

ふつう地層は上に行くにつれて新
しいものとなりますが(地層累重の
法則)、ここではこの法則が当ては
まりません。これは足柄層群が断層
を境にして丹沢層群の下にもぐり込
んでいるためです。このようにして
出来た断層を衝上断層(しょうじょ

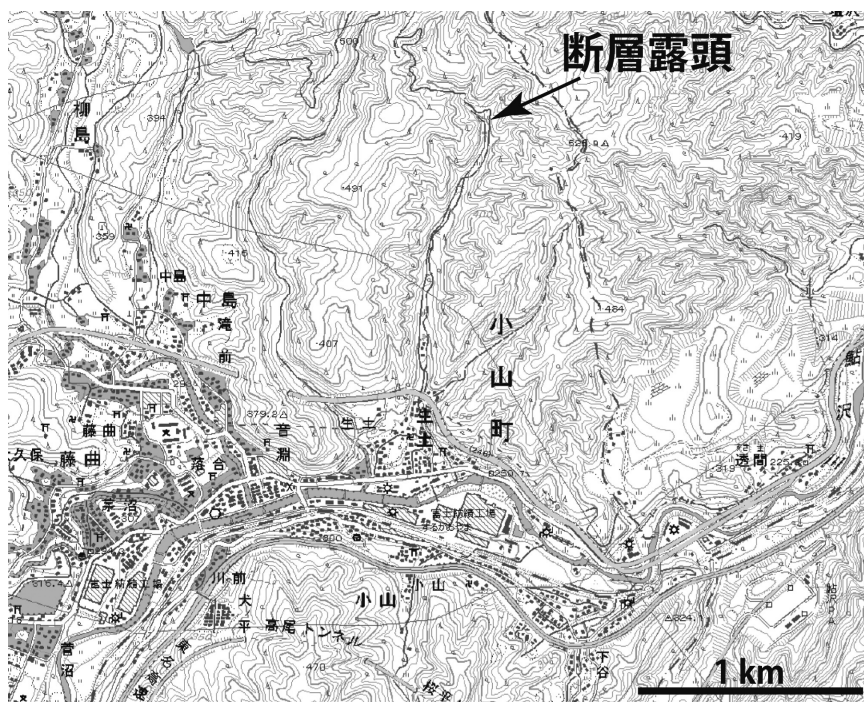


図4 静岡県小山町の神縄断層露頭の位置。

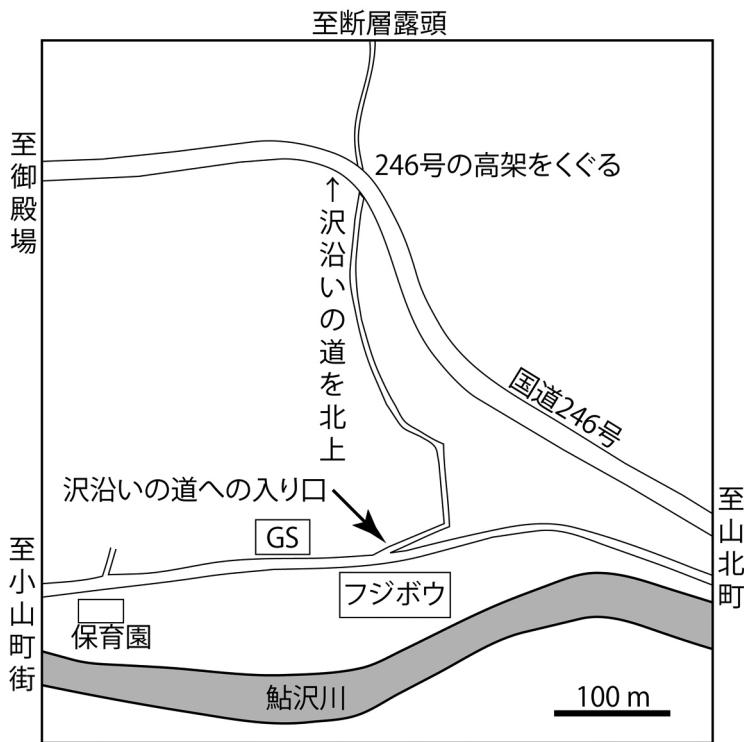


図5 小山町の神縄断層露頭へ向かう道の入り口付近見取り図。

うだんそう）と呼びます。

静岡県小山町生土の露頭（図4）

比較的簡単にアクセスすることができる神縄断層の露頭として、昔からよく知られている静岡県小山町生土の露頭も紹介したいと思います。

神奈川方面からこの露頭に向かう場合、国道246号線を御殿場方面に向かいます。神奈川県と静岡県と

の県境を過ぎて数百メートル進むと、左前方に小山市街に向かう側道（県道394号線）がありますので、この交差点で側道の方へ入ります。この道をしばらく進むと、左側にフジボウの建物がありますので、その反対側の道へ急角度で曲がります（図5）。あとはほぼ道なりに川に沿って林道（生土不老山線）を北上します。林道を2kmほど進むと閉じ

たゲートが現れます。ゲートからさらに徒歩で数分進んだところに露頭はありますので、ゲート手前の広場に車を止めて、露頭まで少し歩きましょう。

ここではほぼ垂直に立った神縄断層を観察することができます（写真2）。向かって左側が丹沢層群、左側が駿河礫層です。露頭の前には小山町教育委員会が作成した看板が立



写真2 静岡県小山町の神縄断層の露頭。向かって左側が丹沢層群、右側が駿河礫層。



写真3 露頭の前には小山町教育委員会が作成した解説の看板が立っています。看板には次のとおり書かれています。

神縄断層（伊豆半島衝突の現場）

今から約1,500万年前、伊豆半島は今の小笠原諸島あたりにあった島でした。それから少しずつ北上して約100万～50万年前に本州と衝突しました。その後も北上を続け、丹沢山地を隆起させているということです。

垂直に走る一本の断層線をはさんで、向かって左が本州側で向かって右が伊豆半島側です。本州側は丹沢山地をつくる凝灰岩で伊豆半島側はれき層です。このれき層は約10万年前丹沢山地から流れ出し駿河湾に注いでいた河川（古酒匂、黄瀬川）がつくったものです。小山町教育委員会

っており、解説が書かれています(写真3)。

温泉地学研究所の剥ぎ取り標本

温泉地学研究所の1階ホールには、神縄断層の剥ぎ取り標本が展示されています(写真4)。剥ぎ取り標本とは、野外の露頭に繊維と樹脂を吹き付け、露頭の表面を薄く剥ぎ取った標本のことです。この標本は、山北町川西の塩沢で剥ぎ取られた物で、約1500万年前の丹沢層群の下に、約70万年前の足柄層群塩沢層がもぐり込んでいる様子を観察することが出来ます(写真5)。

温泉地学研究所では、年末年始を除く平日の8時30分～17時に施設見学をすることができます。詳しくは当所のホームページ(<http://www.onken.odawara.kanagawa.jp/>)の「研究所紹介」の中の「展示内容の紹介」をご覧ください。

参考文献

今永勇(1999) 足柄層群の構造.

神奈川県立博物館調査研究報告(自然科学), 第9号, 41-56.

松島義章・今永勇(1968) 神縄逆断層について. 神奈川県立博物館研究報告, 1, 65-73.

杉村新(1972) 日本付近におけるプレートの境界. 科学, 42, 192-202.

津屋弘達(1942) 神縄衝上断層西翼に就いて. 東大地震研彙報, 20, 322-336.



写真4 温泉地学研究所1階ホールに展示されている神縄断層の剥ぎ取り標本。

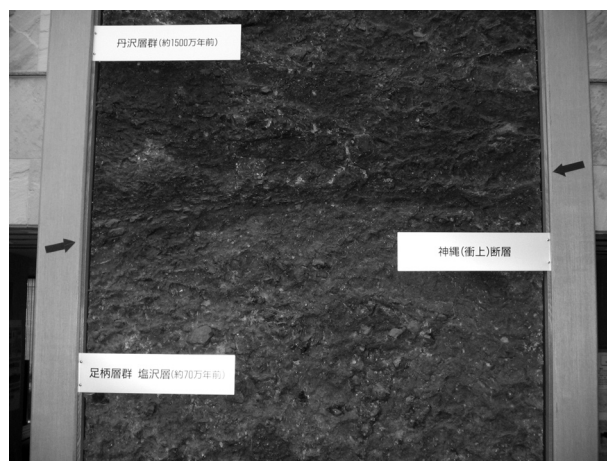


写真5 断層の拡大写真。神縄断層を境にして、足柄層群が丹沢層群の下にもぐりこんでいる様子を観察することができます。